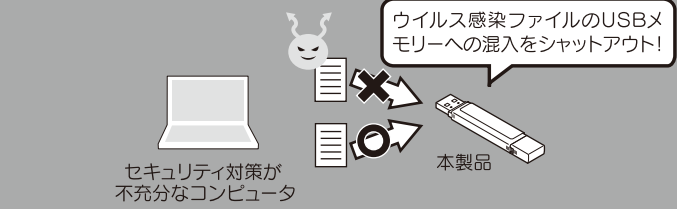
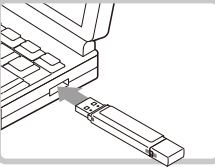
ED-Vシリーズ

取扱説明書

B-MANU201078-01

Trend Micro USB Security™ for Bizとは?

Trend Micro USB Security™ for Biz(以下TMUSB)は、USBメモリー向けのウイルスチェックツールです。システムに常駐し、USBメモリーにコピーされるファイルがウイルスに感染していないかどうかリアルタイムで管理します。

出張先などでセキュリティ対策が不十分なコンピュータから本製品にファイルをコピーする際などに、TMUSBのウイルスチェック機能が効果を発揮します。

使用上のご注意

通常はフォーマットする必要はありません

本製品はFATファイルシステムによりフォーマット済みのため、通常はフォーマットする必要はなく、ログイン後はそのままお使いいただけます。
※4GB以上のモデルはFAT32ファイルシステムにてフォーマット済みです。

複数台の本製品を一台のパソコンに同時に接続し使用できません

本製品の読み書き中はパソコンから本製品を取り出さないでください

故障やデータ破損の原因になります。

本製品は複数のUSBポートを同時に使用できない場合があります

本製品は、隣り合うUSBポートの間隔により複数のUSBポートを同時に使用できない場合があります。そのときは、挿し替えてご使用ください。

本製品はOS起動後にパソコンに挿してください

本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、OSが起動しなかったり、本製品が正常に認識されない場合があります。

USBハブに接続すると正常に動作しない場合があります

USBハブに本製品を接続する場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体のUSBポートに直接挿し込んでください。

USBインターフェイスを装備したキーボードに接続すると正常に動作しない場合があります

キーボードのUSBハブに本製品を接続する場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体のUSBポートに直接挿し込んでください。

USB延長ケーブルをご活用ください

パソコン本体のUSBポートに本製品を接続する際、取り扱いが不便な場合は、USB延長ケーブルをご利用いただければ、手元で本製品を抜き挿しすることができます。別途市販のUSB延長ケーブル(Aプラグ(オス)⇔Aプラグ(メス))をご用意ください。なお、本製品をUSB 2.0でお使いいただく場合は、USB 2.0に対応したUSB延長ケーブルをご用意ください。

Windows Vista®/XPのユーザーの簡易切替には非対応です

サスペンド/スタンバイ/スリープ等の省電力モードには非対応です

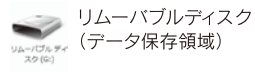
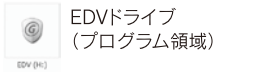
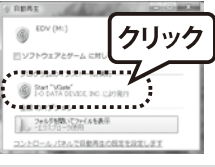
デバイスマネージャーにて本製品の"パフォーマンスのために最適化する"設定はしないでください(Windows Vista®/XPのみ)

本製品からパソコンへのファイルコピー時には、ウイルス検索されません

ただし、本製品内へのファイルコピー時にTMUSBが有効になっていれば、本製品内のファイルにはウイルス検索を行います。

【準備】パスワード設定

本製品を始めて使う場合、最初にパスワードを設定する必要があります。

1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

しばらく待ちます

本製品を初めて使う場合、Windowsが自動的に必要なドライバをインストールします。ドライバのインストールが終了するまでVGateでの設定、ログイン等は行わないでください。

アイコンが2つ追加されます

コンピュータ(またはマイコンピュータ)では以下の2つのアイコンが追加されます。

リムーバブルディスク(データ保存領域)	EDVドライブ(プログラム領域)
データの書き込み/削除を行います。	データの書き込み/削除は行えません。

2 [Start"VGate"]をクリックします。

ドライブ文字はパソコン環境により異なります

自動再生画面が表示されない場合は、コンピュータ(またはマイコンピュータ)を開き、[EDV]ドライブ→[Start]アイコンをダブルクリックします。

VGateを起動すると自動でアップデートを行います

※アップデート中は本製品の取り外し等の操作をおこなわないでください。

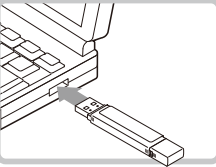
3 パスワードとヒントを設定します。

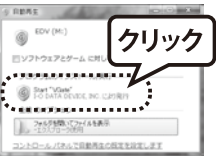
新しいパスワード
ログイン時のパスワードを入力
※半角英数字、半角記号 4～16文字
※大文字・小文字の区別あり

新しいパスワード(確認)
[新しいパスワード]と同じ文字列を入力

新しいヒント
パスワードのヒントとなる文字列を任意で入力
※0～64文字
※全角・半角の区別なし

パスワードを設定しログインするまで、データ保存領域にはアクセスできません

4 [OK]ボタンをクリックします。

ログイン画面が表示されます

【基本操作】ログイン

ログイン後、データ保存領域に対してデータの読み書きを行うことができます。

1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

パスワード設定直後の場合、本製品を挿し直す必要はありません

2 [Start"VGate"]をクリックします。

ドライブ文字はパソコン環境により異なります

自動再生画面が表示されない場合は、コンピュータ(またはマイコンピュータ)を開き、[EDV]ドライブ→[Start]アイコンをダブルクリックします。

3 パスワードを入力します。

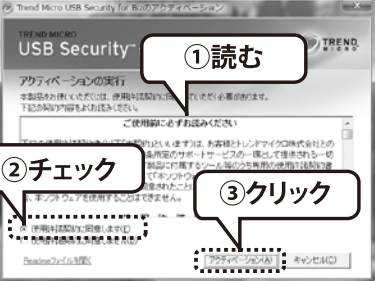
[ヒント]をクリックすると、設定したヒントが表示されます

ログイン画面が表示されない場合は･･･

コンピュータ(またはマイコンピュータ)では本製品が認識されているのにログイン画面が表示されない場合、タスクトレイのVGateアイコンを右クリックし、[ログイン]をクリックします。⇒ログイン画面が表示されます。

パスワード入力ミスを連続100回繰り返すと、ログイン不可能となります

パスワード入力のミスを連続100回繰り返すと、ログイン不可能となります。この状態になると、「VReset」で初期化が必要となり、初期化を行うまでデータ保存領域にアクセスすることはできません。
⇒本紙裏面「【その他操作】初期化方法」参照
※初期化を行うと、データ保存領域内のデータは全て削除されます。

4 Trend Micro USB Security™ for Bizのアクティベーションを実行します。

アクティベーション画面は本製品を初めて利用する場合のみ表示されます

5 使用許諾契約をよくお読みいただき、同意する場合はアクティベーションを実行します。

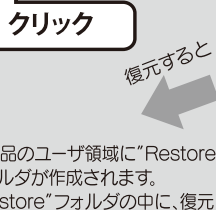
使用許諾契約に同意しない場合は、本製品のウイルスチェック機能をお使いいただけません

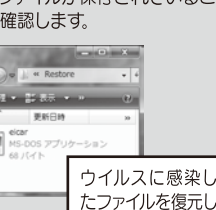
6 [OK]ボタンをクリックします。

データ保存領域が表示されます

ログイン後はVGateアイコンをダブルクリックすると、データ保存領域を表示できます

ログイン後はタスクトレイのVGateアイコンをダブルクリックすると、データ保存領域を表示することができます。

ログインすると[TMUSBアイコン]が常駐します

右クリックでメニューを表示

『感染ファイルが見つかりました』と表示されたら

本製品にコピー中のファイルからウイルスに感染したファイルが見つかると以下の画面が表示され、ウイルスに感染したファイルは本製品の専用フォルダに隔離されます。ファイルを確認し、削除または復元をおこなってください。

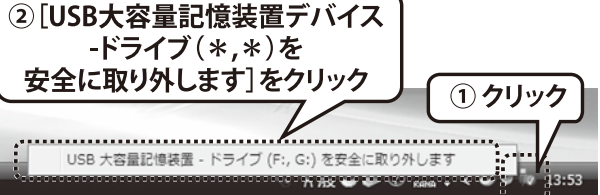
本製品のユーザ領域に"Restore"フォルダが作成されます。"Restore"フォルダの中に、復元したファイルが保存されていることを確認します。

【基本操作】取り外し(ログアウト)

パソコンの電源が入っている状態で取り外す場合は、以下の手順で取り外し(ログアウト)を行ってください。(パソコンの電源を切ってから取り外す場合、以下の手順は不要です。)

本製品の読み書き中(状態表示ランプ:点滅)は、パソコンから本製品を取り外さないで下さい

データの消失や故障の原因となります。

サスペンド/スタンバイ/スリープ/ユーザーの切替を行う場合は･･･

以下の手順でパソコンから本製品を取り出した後、実行してください。
データの消失や故障の原因となります。

データ保存領域にログイン中にWindowsのログオフを行わないで下さい

データ保存領域にログイン中にWindowsのログオフしようとした場合、警告メッセージが表示されます。[OK]、または[キャンセル]ボタンをクリックし、本製品を取り外してから再度Windowsのログオフを実行してください。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックします。

『*』には本製品に割り当てられたドライブ文字が表示されます

ドライブ文字はパソコン環境により異なります

VGateアイコンからも取り外せます

タスクトレイのVGateアイコンを右クリックし、取り外すことも可能です。

Windows 2000 Service Pack 4でのご注意

Windows 2000 Service Pack 4でご使用時に、タスクレイの[ハードウェアの安全な取り外し]が表示されない場合があります。その場合も上記と同様、VGateアイコンからの手順で取り外してください。

2 メッセージを確認します。

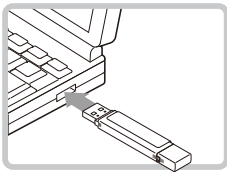
3 状態表示ランプが点滅していない、もしくは消灯していることを確認して、本製品を取り外します。

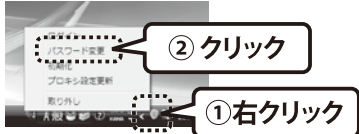
【その他操作】パスワード ヒント の変更

設定したパスワード/ヒントを変更する手順を説明します。

パスワードを忘れてしまった場合は、初期化が必要です

パスワードを忘れてしまった場合は、以下の手順でパスワード変更はできません。その場合、本製品のED-Vドライブ内に収録されている初期化ソフト「VReset」で初期化が必要となり、データ保存領域内のデータは全て削除されます。
（右記【初期化方法】参照）

1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

パスワード設定直後の場合、本製品を挿し直す必要はありません

2 VGateアイコンを右クリックし、[パスワードの変更]をクリックします。

3 新しいパスワードと新しいヒントを設定します。

現在のパスワード
現在設定しているログイン時のパスワードを入力
※半角英数字、半角記号 4～16文字
※大文字・小文字の区別あり

新しいパスワード
ログイン時のパスワードを入力
※半角英数字、半角記号 4～16文字
※大文字・小文字の区別あり

新しいパスワード（確認）
[新しいパスワード]と同じ文字列を入力

新しいヒント
パスワードのヒントとなる文字列を任意で入力
※0～64文字
※全角・半角の区別なし

「新しいパスワード」に「現在のパスワード」と同じ文字列を入力すると、ヒントのみを変更することができます

4 [OK]ボタンをクリックします。

【その他操作】初期化方法

パスワード入力を連続100回間違えた場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ED-Vシリーズに収録の初期化ソフト「VReset」で本製品の初期化を行う必要があります。

初期化を行うとデータ保存領域内のデータは全て削除されます

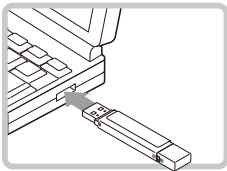
Windows XP/2000では管理者（Administrator）権限でログオンしてください

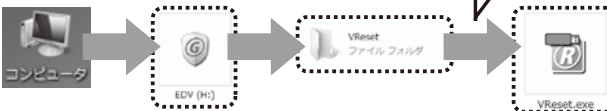
データ保存領域にログインした状態で初期化を実行することはできません

本製品を一旦取り外し、再度接続してください。

VGateアイコンからも初期化できます

タスクトレイのVGateアイコンを右クリックし、初期化することも可能です。
（データ保存領域にログインしていない場合）

1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

パスワード設定直後の場合、本製品を挿し直す必要はありません

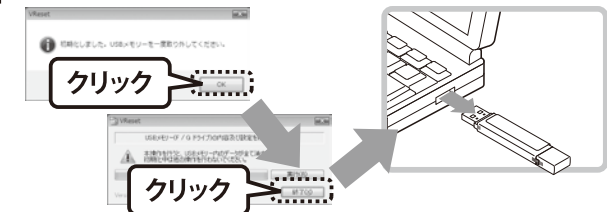
2 コンピュータ（またはマイコンピュータ）を開き、[EDV]ドライブ→[VReset]フォルダ→[VReset]の順にダブルクリックします。

ドライブ文字はパソコン環境により異なります

[VReset]フォルダ内のファイルをハードディスク等にコピーし、実行することもできます

3 初期化を実行します。

本製品のデータ保存領域の内容が、全て削除されます

初期化が終了するまでパソコンから本製品を取り外さないで下さい

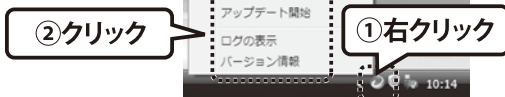
4 VResetを終了し、本製品を取り外します。

初期化後、本製品を使用する際にはパソコンに挿しなおし、パスワードおよびヒントの再設定が必要です

【その他操作】Trend Micro USB Security™ for Biz

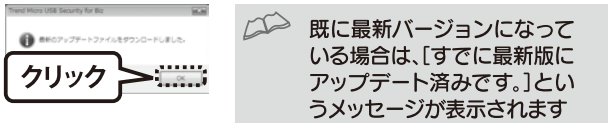
Trend Micro USB Security™ for Bizの各種操作を説明します。

1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ログインします。

ログイン手順は本紙表面参照

2 TMUSBアイコンを右クリックし、実行するメニューをクリックします。

パターンファイルアップデート

通常ログイン時に自動的にアップデートされます。手動でアップデートをおこなう場合は、TMUSBアイコンの右クリックメニューより[アップデート開始]をクリックします。⇒しばらくすると以下の画面が表示されます。

既に最新バージョンになっている場合は、[すでに最新版にアップデート済みです。]というメッセージが表示されます

ネットワーク環境がない場合は下の画面が表示され、アップデートできません

インターネット接続に問題がないかご確認ください。またはインターネット接続にプロキシサーバを経由している場合は、プロキシ設定を行う必要があります。
（右記「プロキシ設定」参照）

隔離ファイルの一覧

表示されたリストからファイルを復元したり、削除することができます。

[復元]をすると、本製品のリムーバブルディスク（データ保存領域）内の[Restore]フォルダに感染ファイルが復元されます
※ウイルスは駆除されません

ログの表示

感染ファイルの監視状況のログを表示します。

バージョン情報

ウイルスパターンファイルのバージョンを表示します。

【その他操作】プロキシ設定

プロキシの設定方法を説明します。

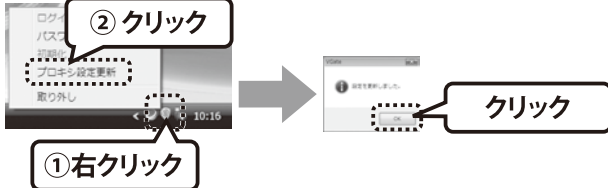
1 本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ログインします。

ログイン手順は本紙表面参照

2 TMUSBアイコンをダブルクリックします。

3 [プロキシ設定]タブの中のプロキシ情報を設定/入力します。

[Internet Explorerのプロキシ設定を使用する]にチェックすると、Microsoft Internet Explorerのプロキシ設定を共通で使用します。または専用のプロキシ情報を入力します。

4 VGateアイコンを右クリックし、[プロキシ設定更新]をクリックします。

困ったときには

弊社サポートセンターWebページの製品Q&Aもあわせてご覧ください。
⇒http://www.iodata.jp/support/

Q 『お使いのOSでは本ソフトウェアはご利用できません。』

原因	対応OSで動作させていない。
対処	対応OSでご使用ください。（本紙表面【動作環境】参照）

Q 『パスワードミス連続回数が制限値を超えたため、ログイン/パスワード変更ができません。』

原因	パスワード入力を連続100回以上ミスした。
対処	本製品の初期化を行ってください。（左記【初期化方法】参照）

Q 『ログイン時にエラーが発生しました。』

原因	ログイン時に何らかの問題が発生した。
対処	一度本製品を取り外し、再度接続し直して、ログインを行ってください。

Q VGateが起動後すぐに終了してしまう。

原因	Windows XP/2000のユーザー権限において、初めて本製品を接続する場合、VGateが起動後すぐに終了してしまうことがあります。
対処	本製品のドライバの自動インストールが終了してから、コンピュータ（またはマイコンピュータ）を開き、[EDV]ドライブ→[Start]アイコンの順にダブルクリックしてください。

Q 『パスワードの設定に失敗しました。』

原因	パスワードの設定で何らかの問題が発生した。
対処	一度本製品を取り外し、再度接続し直して、ログインを行ってください。

Q 認識しない

対処	本製品をUSBポートに挿しても認識しない場合は、一度取り外してから挿し直してください。

Q 容量に空きがあるのに、ファイルが保存できない

原因	OSの仕様上、ルートディレクトリに作成できるファイル/フォルダの数に制限があります。
対処	フォルダを作成して、そのフォルダ内にファイルを保存してください。

Q 「使用期間が終了しました」

原因	TMUSBのサポートサービス期間はアクティベーションをおこなった日より一年間です。使用期間終了まで一ヶ月を過ぎると、使用期限をお知らせするメッセージが表示されます。
対処	継続使用される場合は、画面の指示に従って、サポートサービスの更新手続きをおこなって下さい

Q アップデートが実行されない

対処	以下の点を確認してください。 1.TMUSBのサポートサービス期間が終了していないか。 2.インターネット接続されているかどうか。 3.インターネットへの接続にプロキシ設定が必要かどうか。

Q 取り外しに失敗する

対処	使用中のソフトウェアを全て終了してから、もう一度取り外しをおこなってください。それでも取り外しできない場合は、パソコンの電源を切ってから、本製品を取り外してください。

Q タスクトレイのTMUSBのアイコンが灰色になっている

原因	パソコンに既にウィルスバスター2009等のローカルアップデートに対応したトレンドマイクロ社製品がインストールされている場合、無効となります。
対処	お使いのパソコンはトレンドマイクロ社によって保護されているため、対処は特に必要ありません。

Trend Micro USB Security for Bizの使用期限は2011年12月末までです。
また、本ソフトウェアにはアクティベーション後1年間のウイルスパターンファイルのアップデートを含むサポートサービス料金が含まれています。

次年度以降も継続して最新のウイルス対策等のサポートサービスをご希望の場合は、別途アイ・オー・データ機器提供の更新ツールの購入（有料）が必要です。
ただし、既にトレンドマイクロのウイルスバスターもしくはウイルスバスター　コーポレートエディション、トレンドマイクロ　ウイルスバスター　ビジネスセキュリティ、 トレンドマイクロ　ビジネスセキュリティを所有しているか、新規で購入される場合には次年度以降も継続してご使用いただくことが可能です。詳細は本製品の使用許諾契約書をご覧ください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/